COMPANY PROFILE

会社概要

商　　号	日本ドライケミカル株式会社 （Nippon Dry-Chemical CO., LTD.）
代 表 者	代表取締役社長　遠山 榮一
設　　立	1955年4月23日
資 本 金	700百万円
従業員数	751名／グループ総数1,104名

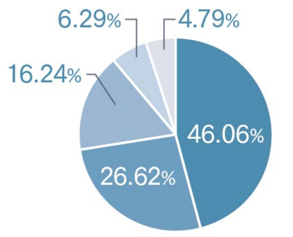
役員体制（2023年9月30日現在）

役　員	代表取締役社長	遠山　榮一
	常務取締役	浅田　裕沖
	常務取締役	亀井　正文
	取　締　役	松岡　猛
	取　締　役	山内　良介
	社外取締役	髙橋　宏幸
	常勤監査役	大橋　徹
	社外監査役	渡慶次　憲彦
	社外監査役	紀陸　保史

株式の状況（2023年9月30日現在）

発行可能株式総数	14,000,000株
発行済株式総数	7,181,812株
株主数	5,056名

- 国内法人……3,308,300株
- 個人・その他……1,911,662株
- 金融機関・証券会社……1,165,902株
- 外国人等……451,901株
- 自己株式……344,047株



株主名	所有株数（株）	持株比率（%）
綜合警備保障株式会社	1,100,000	16.08
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	445,000	6.50
日本ドライケミカル取引先持株会	435,200	6.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	272,000	3.97
岡三証券株式会社	210,600	3.07
株式会社初田製作所	200,000	2.92
新日本空調株式会社	192,000	2.80
沖電気工業株式会社	178,000	2.60
株式会社吉谷機械製作所	160,000	2.33
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	142,800	2.08

※1 当社は自己株式344,047株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
証券コード	1909
公告の方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。 （https://www.ndc-group.co.jp/） ただし、事故等やむを得ない事由によって電子公告による公告が行えない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社あてにお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル 0120-782-031 （平日9:00～17:00/土日祝除く）

Waterless Printing, Naturally.
VEGETABLE OIL INK この印刷物は環境に優しいリサイクルした植物油を使用したベジタブルインクを使用しています。
FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています www.fsc.org FSC® C134696

NDC 日本ドライケミカル株式会社
〒114-0014　東京都北区田端6-1-1　田端ASUKAタワー
https://www.ndc-group.co.jp/

第72期　第2四半期

株主通信

2023年4月1日～2023年9月30日

NDC 日本ドライケミカル株式会社

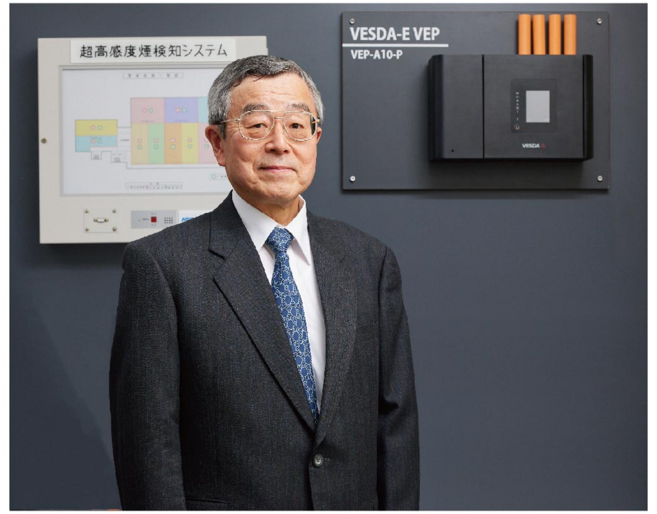
証券コード 1909

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの属する防災業界におきましては、原材料価格の高騰等による業績への影響が懸念される状況にはありますが、防災・減災を目的とした公共事業、生産設備投資関連及び都市部の大規模再開発等による需要拡大への期待感は尚、継続しているように見受けられます。

このような経済状況のもと、当社グループは引き続き自動火災報知設備から消火設備、消火器そして消防自動車までを広くカバーする総合防災企業としての立ち位置を更に強化しつつ、製品ラインナップの拡充を図り積極的な営業活動を推進してまいりました。

また、各種防災設備の設計・施工、消火器及び消防自動車等の製造そしてそれらのメンテナンスを通じて、世の中に高度な安心・安全を提供し、より良質な社会インフラを構築するという社会的使命を果たすべく、グループ一丸となって注力しております。



真の安心・安全を追求する総合防災企業として

当社は、消火器の製造からスタートし、65年を超える歴史のなかで消火設備、消防自動車、自動火災報知設備の分野へと事業領域を拡大し続けて、お客さまの防災にかかわるすべてのニーズにワンストップでお応えする総合防災企業へと発展してまいりました。

2024年3月期の上期においては、5年に一度開催される国内最大級の消防防災に関する展示会「東京国際消防防災展2023」に出展いたしました。早期に微量の煙を検知する超高感度煙検知システム「VESDA®」をはじめ、自社開発のスプリンクラーヘッドや海外規格の認証を取得した消防機器などを展示し、消防関係者から一般の方、海外の方まで、多くの来場者に当社製品をPRすることができました。

また、リチウムイオン電池火災のリスクに対処するため、リチウムイオン電池オフガス検知システム「Li-ion Tamer®」を提供するHoneywellと戦略的提携をいたしました。Li-ion Tamer®がもつバッテリー異常を早期に検知する技術と、当社のリチウムイオン電池火災に有効な消火薬剤、消火装置および消火システムを組み合わせることで、より安心安全な予防防災ソリューションを提供してまいります。

当社は、火災報知から消火までをカバーする最強の消防防災プロフェッショナルとして、従来型の消防防災にとどまることなく次世代消防防災「予防防災」に注力するとともに、環境対応型社会の要請に応えつつ、お客さま視点に立った業界ナンバーワンの総合防災メーカー、エンジニアリングカンパニーとして進化し続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社の発展にご期待いただき、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　遠山 榮一

NEWS & TOPICS

ニュース＆トピックス

滝野川ファイアーフェスティバルに参加しました

2023年10月8日、東京都北区で防災・防火知識及び技術の普及を目的としたイベント「滝野川ファイアーフェスティバル」が開催されました。同区に本社を置く当社は、住宅用消火器やクイックスプラッシャー、各種防災用品を展示しました。当日は家族連れの方を中心に、約1500人が来場し、体験コーナーやスタンプラリーを楽しんでいました。

備蓄品に興味を持たれる方が多くいました。クイックスプラッシャーに関しては、消防署員の方も興味津々。

自己株式取得について

当社は、2023年8月7日開催の取締役会において、自己株式取得に関して決議をしました。経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主還元策の一環として自己株式の取得を進めております。

■取得の内容

取得し得る株式総数　普通株式200,000株（上限）

株式の取得価格総額　400,000,000円（上限）

取得期間　2023年8月8日～2024年7月31日

FEATURE

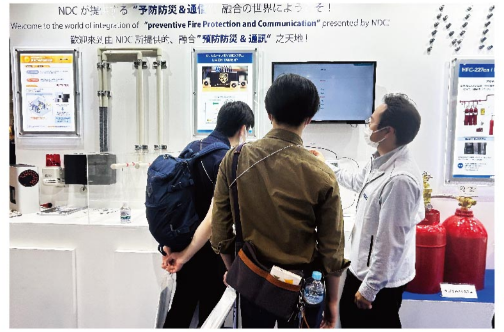
東京国際消防防災展2023 出展レポート

開催期間：2023年6月15日〜18日

災害対策や防災意識の周知を図る 5年に一度の大展示会

5年ごとに開催される「東京国際消防防災展」は、災害対策や多様化する災害リスクを周知し、産業の振興を促進することを目的とし、全国から消防防災関連の団体・企業が集結するビッグイベントです。

来場者数は4日間で延べ16万6831人となり、海外からも多数の方が訪れました。当社のブースでは、最新の消防機器・システムをご紹介しました。



超高感度煙検知システムVESDA®、リチウムイオン電池監視システムLi-ion Tamer®を実演を交えてアピール。

アピール製品 1

微量の煙を早期発見
超高感度煙検知システムVESDA®

従来の煙検知方法では、高い天井や気流の多い部屋では早期に煙を検知できない恐れがありました。VESDA®は微量の煙を検知することで、設備の損傷や物的損害を最小限に抑えます。

アピール製品 2

リチウムイオン電池監視システム Li-ion Tamer®(ライオンテイマー)

Li-ion Tamer®は、バッテリー故障の前兆を知らせるモニターです。バッテリー故障時に発生するガスを早期に検知し、その後に起こる温度の制御が出来なくなる現象を回避または軽減するための予防的防災措置を講じることができます。

各種消防機器・システムをPR

UL規格認証機器

UL規格の認証を取得したスプリンクラーヘッドをはじめ、さまざまな消防機器をラインナップしています。

簡易自動消火装置

小スペース内での火災消火に効果的な消火装置です。発火点で消火するため初期消火が可能で、さまざまな防護エリアに適応でき、施工が簡単です。

スプリンクラーヘッド型

熱検知チューブ型

キッチンセーフ

高精密センサーを利用したガス漏れ検知が可能な住宅用厨房自動消火装置です。

NDCスプリンクラーヘッド

衝撃耐性に優れた当社製の消火設備用閉鎖型スプリンクラーヘッドです。

住宅用下方放出型 自動消火装置 SPA-3

天井に設置する消火装置で、一般住宅や可動式ブースなどに採用されています。

COLUMN

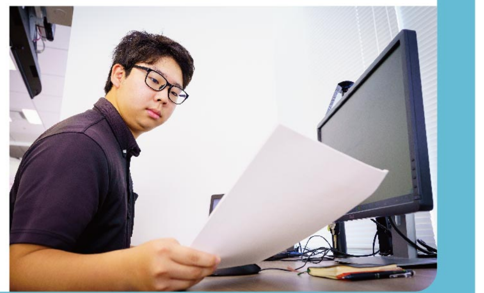
- 社員が語るNDC -

九州支店
建築防災部 工事課
西山 竜矢
2020年入社

私が防災業界に関心を持ったきっかけは、2019年7月に起きた京都にあるアニメ制作会社の放火事件です。自分が好きな作品を制作している方々が不条理な死を遂げたことに衝撃を受け、すごく悲しくなりました。この事件を機に、人命および財産を守る消火設備に興味を持つようになり、当社への入社を志しました。

私が所属する部署では、オフィスビルや商業施設などの消火設備の設計や施工管理を行っています。私たちの作業は工事の工程と密接に関係するため、工期を守る上で責任重大です。例えば設計図に誤りがあれば、関連する設備にも影響が起きてしまいますし、工期の遅れにもつながりかねません。また、部材の発注や外注業者手配などが遅れてしまうと、他業者にまで迷惑をかけてしまうことになります。このようなことが起こらないように、常に技術の向上を目指すとともに、作業一つ一つに責任を持って慎重かつ丁寧に行っています。

信念は、自分の担当した物件では、火事で亡くなる方を出さないこと。そのためにも、しっかりとした技術と知識を持ち、妥協せず確実に施工を終わらせる仕事をしたいと思っています。



ABOUT PERFORMANCE

第2四半期累計期間　連結決算概要

連結貸借対照表

（単位：千円）

	前期末 2023年3月31日現在	当第2四半期末 2023年9月30日現在
資産の部		
流動資産	32,383,703	31,955,706
固定資産	15,517,124	15,708,885
有形固定資産	9,365,090	9,453,492
無形固定資産	891,739	810,729
投資その他の資産	5,260,294	5,444,663
資産合計	47,900,827	47,664,591
負債の部		
流動負債	19,582,544	17,868,355
固定負債	4,965,965	4,600,571
負債合計	24,548,509	22,468,926
純資産の部		
株主資本	18,523,953	19,629,259
資本金	700,549	700,549
資本剰余金	3,023,864	3,023,864
利益剰余金	15,214,908	16,452,359
自己株式	△ 415,369	△ 547,514
その他の包括利益累計額	542,207	832,762
非支配株主持分	4,286,157	4,733,643
純資産合計	23,352,318	25,195,665
負債純資産合計	47,900,827	47,664,591

自己資本比率（連結）	39.8%	42.9%

POINT

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、売上債権および仕入債務の減少等により総資産が前期末比236百万円減少し、資産合計は47,664百万円となりました。また、利益剰余金の増加等により純資産合計が同1,843百万円増加し、これらの結果、自己資本比率は42.9％となりました。

連結損益計算書

（単位：千円）

	前期（累計） 自2022年4月1日 至2022年9月30日	当期（累計） 自2023年4月1日 至2023年9月30日
売上高	21,084,675	24,785,605
売上原価	16,234,164	18,893,297
売上総利益	4,850,510	5,892,308
販売費及び一般管理費	3,635,173	3,746,192
営業利益	1,215,337	2,146,115
営業外収益	145,482	424,172
営業外費用	64,467	88,062
経常利益	1,296,352	2,482,225
特別利益	111,960	727
特別損失	9,497	24,745
税金等調整前四半期純利益	1,398,815	2,458,208
法人税等合計	390,142	801,348
四半期純利益	1,008,672	1,656,860
非支配株主に帰属する四半期純利益	187,911	243,428
親会社株主に帰属する四半期純利益	820,760	1,413,431

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前期（累計） 自2022年4月1日 至2022年9月30日	当期（累計） 自2023年4月1日 至2023年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 422,548	79,332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 409,332	△ 305,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	334,006	△ 94,633
現金及び現金同等物に係る換算差額	71,467	55,754
現金及び現金同等物の増減額	△ 426,407	△ 265,094
現金及び現金同等物の期首残高	5,549,896	4,006,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,123,488	3,741,104

POINT

当第2四半期連結累計期間の連結損益は、防災設備事業において大型案件およびプラント案件の工事進捗が進んだこと、消火設備用機器・製品の販売が好調だったこと等により、売上高は前年同期比3,700百万円の増収、営業利益は同930百万円の増益となりました。